

道を拓く。 次代を担う。

松本 たかゆき

29歳 無所属 一児の父

西宮生まれ、西宮育ち 市政への挑戦!

プロフィール

- ▶1993年(平成5年)10月生まれ。
- ▶広田幼稚園/甲東小/甲陵中/関学高/関学大(商)卒/元・積水ハウス 本社勤務
- ▶2016年積水ハウス(株)入社。
営業職で、資産家や地主のお客様に賃貸住宅等のご建築による土地活用のご提案を担当。その後、本社にて人事(新卒採用、社員育成、社内規則改訂等)を担当。その他、新人事制度への移行等も経験。
- ▶現職職員との出会いをきっかけに、学生時代からの夢が再燃。
会社員を辞めて市政に挑戦することを決意。

趣味・特技

- ▶バスケットボール
甲陵中: **西宮市優秀選手賞**
関学高: **兵庫県優勝**
(インターハイ・ウィンターカップ出場)
関学大: **関西2位、西日本3位、インカレ出場**
- ▶ゴルフ(ベストスコア105)
- ▶家族旅行
- ▶読書(池井戸潤さんの作品が特に好きです)



第1号のチラシでは、私の自己紹介をメインに書きましたが、今回は目指したい市政について記載します。

※第1号で関西学院高等部の入試について誤解を招く表現がありましたのでお詫言致します。訂正の内容についてはホームページをご参照ください。

給料の7%しか自由に 使えない西宮市*

*市の歳入を会社員の給料に置き換えた表現です。

住みたい街No.1の「西宮」は過去の話となりつつあり、平成29年から3年連続転出超過となりました。公共施設等の老朽化対策、少子高齢化による社会保障費の増加に加え、人口減少による税収低下も乗っかってくるこれからの西宮を想像すると不安でなりません。

※不必要に不安を煽りたいのではなく、「どうにかして大好きな西宮をこれからも残していきたい」という気持ちで書いていますので悪しからず...

現在、西宮市の財政状況は非常に厳しい状況にあります。西宮市の財政状況を家計に例えると、給料の約93%が住居費・光熱費・食費などの固定費で占められています。そして自由に使えるお金はたった7%ほどです。(昨年度少し改善したものの、依然として他中核市よりも厳しい状況です。ちなみに全国の市町村の中でワースト上位10%以内です。)

嘘やん。街は綺麗やし、
高級なイメージがあるのに〜。



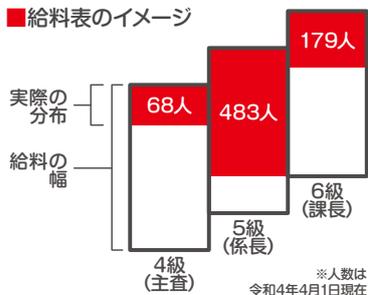
なぜ、西宮市がこのような財政状況なのか？

それは、他中核市に比べ**人件費が圧倒的に高い**からです。

※じゃあ「給与・人員カットしましょよ!」という単純な話ではありません。

ちなみに、市政運営するのに掛かる経費に占める人件費の割合は、西宮市は中核市の中で6年連続ワースト1です。その要因の一つに、**優秀な若手が報われない&財政を圧迫しやすい現行の人事・給与制度**があります。現行の課題についてイメージし易いように、等級毎の給料の幅と実際に貰っている人の分布イメージの一部を下に書いてみました。そして問題点は右記の通りです。

■給料表のイメージ



■人事・給与制度の主な問題点

- ①上司(課長)より高給な部下(係長)、といった逆転現象が起きている
- ②給料表の重なりが多い

早期に昇級したのに、責任や仕事の量が増え、給料はそれに見合う昇給をしていない、と優秀な職員のモチベーション低下に...

こちらについては、メリハリのある評価制度と給与体系を実現することで、単なる財源捻出ではなく、市役所の活性化も目指します。

私は前職にて積んだキャリアのうち、「人事部での新人事制度への移行の経験」を活かし、西宮市の人事制度も本来あるべき姿にアップデートします。

選挙の直前だけ頑張る カッコ悪い政治家

「これからの世代が西宮市議会に加わって変えていかないといけない。」現職議員から聞いたその言葉で、学生時代からの「自ら政治に関わり世の中を良くしていきたい」という夢が再燃しました。そして、生まれ育ててくれた大好きな街 西宮市で市政を志すことを決意しました。

そんな私から見た西宮市議会は、議員によって(言葉を選ばずに言うと)仕事への温度差があると感じます。在学時から市議会議員のSNSをフォローしたりして、議員の発する情報を得ていましたが、そうした中でも違いがありました。例えば、度々SNS等で熱心に発信している議員や何度か駅で見かける議員がいる一方で、オンラインの広報媒体すら持っていない議員や街で一度も姿を見たことがない議員がいたりします。**本質的な仕事の面でも、議会の場でほとんど発言しない議員や、選挙時の公約に任期満了が近づいても手をつけていない(その説明も無い)議員もいるというのが、今の西宮市の実情です**(と一市民には見えています)。だから「政治家は選挙の直前だけ頑張ってカッコ悪い」なんて揶揄されたりするんだと思います。

西宮に必要な 政治家の数は何人?

そんな憂いを感じる中で、ある議員の方の“議員定数、議員報酬を半分に”という公約に関心を持ちました。

これを聞いて私は、「なるほど。さすがに議員報酬半分に、というのはお金に余裕のある人しか政治家になれないようになるからそこには同意できへんけど、議員定数を減らすというのはアリなんちゃうかな?」と感じました。

ここまで書きましたが、お読みいただいている中で次のような疑問が浮かんだかもしれません。



西宮市には今、何人の市議会議員がいて、どれぐらいの件数がかかっている? 議員の人数を減らすことで何か不具合があるん?

答えは次の通りです。(最後の疑問は右側に書いてます。)

西宮市議会議員の人数は41名です。費用(給与+政務調査費+議会運営費)はざっくりですが、1人あたり約1,400万円掛かっています。



議員定数は元々、法律で人口規模によって上限が決まっていたのですが、根拠があやふやでした。そこで平成23年に地方自治法が改正され、45人→42人→41人と定数が見直されてきました。ただ、上段で書いたような憂いから、私はまだ見直し(削減)してはどうか?という立場です。では、削減することでどのような影響があるのか?

個人的な見解もありますが、私は下に書いたようなメリット、デメリットがあると思います。

- | ▶メリット | ▶デメリット |
|--------------------------------|-----------------------------|
| 1 少数精鋭となることで議会の活性化になる | 1 大きな支援団体(組織票)のある人が多数の議会となる |
| 2 新たな財源の捻出(費用削減) | 2 少数意見が通りにくくなる |
| 3 議員の枠が限られてくるため、市民全体の政治意識が向上する | |

じゃあ、議員は何名必要なのか?私が提案したい目標人数は36名です。

→現職の川村議員も推奨している人数ですがバクリでは無いです(笑)

それは次の2つのルールがあることが理由です。

- ①西宮市議会の会派(議会の中のチームのようなもの)は3名から結成できる。
- ②条例提案等の議員側からの提案は、議員定数の12分の1から可能。

このルールに基づくと、現状は議員定数が41人なので、3人で会派(チーム)を組んでも、その会派だけでは条例が提案できないという状態になっています。(例えるなら、野球の大会に7人でエントリーできますが、試合は9人揃えてください。という規定がある感じです。)

従って、それぞれの会派が機能し易くすることも考えて36名の定数を目指します。

メッセージ

願わくば、「この人なら議会を構成する一員として納得できる」という政治家のみで、西宮市の未来を作っていきたくです。それには、現状維持のままでは変わらないと思っています。正直デメリット①は大きい問題ですが、これは私たち一人一人で解消できる問題です。それは、どうするかと言うと、僭越ながら「皆が政治に参加すること」です。**多くの人々が政治に参加し(投票に行き)、組織票の割合が減ると、本当に志のある政治家を増えていくでしょう。**

前回の西宮市市議会議員選挙の投票率は35%でした。残りの65%にこれからの西宮を変える大きな可能性があると感じています!

松本 たかゆき

連絡先

☎ 050-6872-4276

🐦 tkyk_matsumoto

✉ mt.shisei@gmail.com

📷 tkyk_matsumoto



HP



Instagram



Twitter



Blog

NEW HPを新設しました

最後までお読みいただきありがとうございます。ご意見や感想があればぜひお寄せください。前回のチラシをご覧いただいた方から、「SNSのQRコード記載の方が良いのでは?」、「宗教法人との関わりの有無を明示すべき」等のご意見をいただき、本チラシより反映させていただいております。

※政党や宗教法人との政策協定、支援等は一切ございません。

発行 故郷にしのみや 西宮市下大市東町35-3-203